

■ Stage 1 / Lesson 1 *OriHime*

●Life / Way of Life

●Tense

●Allotment

- ・ The 1st period : pp.13-15
- ・ The 2nd period : pp.16-17
- ・ The 3rd period : pp.18-19
- ・ The 4th period : p.20

[The 1st period]

Procedure (Time)	Teacher(s)	Students	Notes
Getting ready (Warm-up) (5 min.)	1. 質問を提示し、ペアで話し合わせる。 質問: ● Have you ever seen any robots around you? If yes, what kind of robots? ● Do you want robots talking to you? Why? ● What kind of robots do you need? Why? 2. 何人かの生徒に質問をする。	1. ペアで質問をもとに話し合いをする。 2. 質問に答える。	教科書 p.13 READY Think & Talk
Introducing the Topic (5 min.)	1. 音声を聞かせる。 2. 音声のスク립トを提示し、音声を再度聞かせながら答え合わせをする。	1. 聞いた音声をもとにTFの質問に各自で答える。 2. 答え合わせをする。	教科書 p.13 READY Introducing the Topic

<p>Listening to conversation (15 min.)</p>	<p>1. リスニングポイントを提示し、注意して聞く箇所を確認する。</p> <p>リスニングポイント：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● What can OriHime do? ● Who invented OriHime? ● What can we do through OriHime? <p>2. 音声を2回聞かせ、その後ペアで答え合わせを行わせる。</p> <p>3. 追加の質問をし、ペアで話し合わせる。</p> <p>例) Why did he name the robot OriHime?</p> <p>4. 何人かの生徒に質問をする。</p>	<p>1. リスニングポイントを確認する。</p> <p>2. メモを取りながら音声を聞く。その後、ペアで答え合わせを行う。</p> <p>3. 質問に対してペアで話し合う。</p> <p>4. 自分なりの答えを述べる。</p>	<p>教科書 p.14</p> <p>1. Listen</p> <p>* 活動中、教科書は閉じておく</p>
<p>Understanding the useful expressions (5 min.)</p>	<p>「やり取りの表現」にある英文をリピートさせる。また必要であれば、別の表現も練習する。</p> <p>例) For instance, / like ...</p>	<p>教師の後に続いてリピートする。</p>	<p>教科書 p.14</p> <p>「やり取りの表現」</p>
<p>Interacting in groups (20 min.)</p>	<p>1. OriHimeを自分であればどのように使うかについてメモに書かせる。</p> <p>* 必要であれば、追加資料として OriHime の web page を紹介し、どのようなことがこのロボットにできるのかについて提示する。</p>	<p>1. 自分の考えをメモする。その際、キーワードのみを書く。</p>	<p>教科書 p.15</p> <p>TASK</p> <p>追加資料</p> <p>https://orihime.orylab.com/</p>

	<p>2. 個人で発表の準備をさせる。</p> <p>3. グループ内(3～4人)で順に発表する。発表が終了した生徒は質問をするよう伝える。</p> <p>4. 何人かの生徒に発表させる。その際、自分ではなくグループ内の他のメンバーの意見を紹介させる。</p>	<p>2. メモだけを頼りに発表できるよう個人で練習する。</p> <p>3. グループ内で順に発表する。発表が終了したら、次の発表者の発表後に英語で質問を行う。</p> <p>4. グループ内の自分以外のメンバーの意見を紹介する。</p>	
--	--	--	--